

1 通 報

速やかに消防機関へ119番通報します。



POINT

- 電話の前などに、通報内容を記入したメモを準備しておくとお便利です。
- 自動火災報知設備のベルが鳴った場合は、まず119番通報し、現場の状況が分かり次第、2回目の119番通報をしてください。

119番通報内容

消防指令センターからの問掛けに教えてください。

- 1 火事ですか？救急ですか？
- 2 住所、ビル名、店名、階数、目標物は？
- 3 どこで何が燃えていますか？けが人は？
- 4 あなた（通報者）のお名前、電話番号は？

火事です！
場所です！



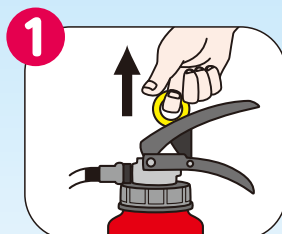
2 初期消火

消火器や水バケツ、屋内消火栓などで火災を消火します。

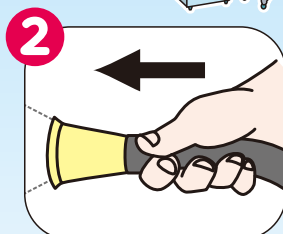


消火器の使い方

- 1 安全栓を抜く
- 2 ノズルを火元に向ける
- 3 レバーを強く握る



安全栓を抜く



ノズルを火元に向ける



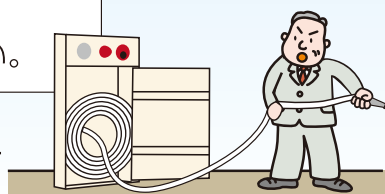
レバーを強く握る



POINT

- 日頃から消火器の設置場所を確認しておきましょう。
- 燃えている物の火元に向けて放射してください。
- 炎が天井まで至ると、消火不能です。すぐに避難してください。

消火器以外に、屋内消火栓などの消火設備が設置されているビルもあります。消火器や屋内消火栓には、使用方法が表示されていますので、日頃から使用方法を確認しておきましょう。



3 避難誘導

利用客に火災を知らせ、屋外などの安全な場所まで避難誘導します。

- 1 大きな声で利用客に火災を知らせる
- 2 利用客を屋外などの安全な場所まで避難誘導する



POINT

- 携帯用拡声器、メガホン、懐中電灯を準備しておくとお便利です。
- 非常放送や業務放送などの設備があるビルは、積極的に活用してください。
- 火災の延焼を防ぐため、避難後は防火戸を閉めてください。
- 利用客が逃げ遅れないように、建物の隅々まで確認してください。
- エレベーターは閉じ込められる危険がありますので、使用しないでください。

被害を最小限にするためには、あなたの行動が重要です。